



～令和5年度の「WITH」第2号は、以下の内容について紹介します！～

I 「リハイク振り返り会」・・・コミュニケーションに関わる指導について

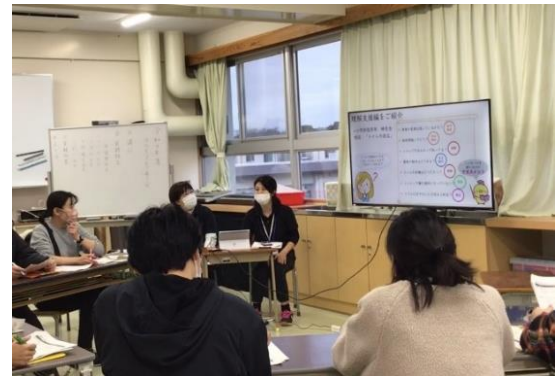
～専門的視点からの指導のポイントと、具体的事例から学び合う～

II コーディネーター学習会・・・SC から学ぶ、子どもの内面への迫り方

I 「リハイク振り返り会」

令和 2 年度から始まった特別支援学校リハビリ相談事業「リハイク」は、今年度で 4 年目になります。今年度、本校では 11 名(全 14 回)の相談がありました。今年度も相談内容に応じて、福井県こども療育センターから言語聴覚士(ST)土田久美子先生、作業療法士(OT)栗原恵先生、理学療法士(PT)佐々木夏代先生に来校していただき、様々なケースに応じた指導、助言等をしていただきました。

今年度は、全リハイク実施後の 12 月に ST や OT の先生方にお越しいたき、「リハイク振り返り会」を初めて行いました。この会では、今年度相談件数が多かった「コミュニケーションに関わる指導」について専門的な視点からお話をいただいた後、本校教員とともに具体的な相談内容を基に考えたことや取り組んだことについて話し合いました。参加した教員からは、「振り返り会に向けて自分の実践をまとめるきっかけになった。他の先生方の取り組みについても情報共有できた。」や「いろいろな実践を聞いて、とても勉強になった。また専門の先生と話せる機会があれば、是非参加したい。」などの感想がありました。次年度も福井県こども療育センターの先生方との勉強会を、継続して行っていきたいと思います。



II コーディネーター学習会

12 月 25 日(月)、読み書きスクリーニング検査についての学習会を実施しました。校内の教員から希望を募り、18 名が参加しました。最初に、読み書きスクリーニング検査の種類や特徴などを確認しました。その後、教員同士がペアになり、実際に読み書きスクリーニング検査の一部を行う演習をしました。「この手順でよいか。」「この提示の仕方よいか。」などお互いに確認し合いながら取り組みました。後半は、石田教頭から、指導と支援のバランスや小中学校での具体的な支援方法について講義していただきました。いろいろな支援を考えていくとき、本人の気持を確認しながら進めていくことが大切であることを改めて学びました。

